

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 教育研修部 西澤 俊紀

【研究責任者】

聖路加国際病院 教育研修部 西澤 俊紀

聖路加国際病院 一般内科 小林 大輝

一般内科 有岡 宏子

胸腰椎圧迫骨折患者における 経皮的椎体形成術と保存的加療の比較研究

1. 研究の対象

2007年1月から2016年12月までに胸腰椎圧迫骨折の診断で入院された患者さん

2. 研究の目的・方法

当院での経皮的椎体形成術と保存的加療を行った患者さんの除痛効果、ADLの向上効果、入院期間を比較します。また経皮的椎体形成術後の続発性骨折のリスクを調査します。

なお、この調査では診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、

喫煙歴、飲酒歴、常用薬(ステロイド)、骨密度測定、骨折の既往、腰椎圧迫骨折(発症日、部位、椎体骨折の数)、家族歴(両親の大腿骨骨折の既往)、関節リウマチの既往、骨粗鬆症の既往、その他の既往歴

VAS pain score、ADL、同居家族の有無、入院日数、食事摂取量、排泄に関するADL、続発性骨折(再発や再入院)、鎮痛薬、経皮的椎体形成術の有無、術後の合併症等